

静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号 研究課題名	NO 2024-23 大腸憩室出血に対し、内視鏡的止血術前処置におけるサルプレップ®の有効性の検討
当院の実施責任者及び 職名	消化器内科 医師 山田 裕
多機関共同研究の場合 研究代表（責任）者	なし
研究期間（西暦）	当院倫理委員会承認後～2025年12月31日
対象期間（西暦）	2023年1月1日～2024年9月30日
研究の目的	本邦において大腸憩室の保有率は上昇傾向にあります。大腸憩室出血も増加しており、大腸憩室症ガイドラインでは大腸憩室出血を疑った場合も初回診断法として下部消化管内視鏡検査が推奨されています。下部消化管内視鏡検査で止血処置を行うためには責任憩室の同定が必要であり、そのためには腸管前処置が重要となります。近年、新規の経口腸管洗浄剤である無水硫酸ナトリウム・硫酸カリウム・硫酸マグネシウム水和物液(サルプレップ®)が本邦で保険承認となり、その安全性についての報告もみられています。既存のポリエチレングリコール製剤(モビプレップ®)との間で、安全性や責任憩室同定率、入院期間を直接比較した報告はありません。当院においてモビプレップ®を使用した症例とサルプレップ®を使用した症例の臨床経過を比較検討するため本研究を計画しました。
研究の内容	対象期間内に大腸憩室出血に対して、サルプレップ®もしくはモビプレップ®を前処置で用い、内視鏡的止血術を実施した患者さんの診療情報から下記の情報を収集します。 <ul style="list-style-type: none">・背景因子（年齢、性別、など）・臨床データ（血液検査結果、内視鏡検査結果、画像検査結果など）・転帰（治療後合併症の有無、内視鏡治療後の臨床経過など）
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表する可能性があります。その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

問い合わせ先
(拒否等受付窓口)

【研究担当者】

所属：静岡赤十字病院 消化器内科

氏名：医師 山田 裕、佐藤 佑樹

住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2

電話：054-254-4311